

北九州市環境科学研究所報

第37号
(平成21年度)

北九州市環境科学研究所

目 次

第1 沿革・組織及び概要

1 沿革	1
2 組織	1
3 職員配置表	2
4 検査件数	3
5 予算概要	4
6 分析機器整備状況	5
7 庁舎配置図	6

第2 業務内容

1 企画調整部門	7
2 試験検査	
環境部門	10
衛生化学部門	13
微生物部門	18
3 調査研究	24

第3 講演発表・報告書

・日本における淡水魚中のPCB蓄積量調査	37
・日本における淡水魚中の残留性有機汚染物質(POPs)蓄積量調査	39
・In vitro バイオアッセイを用いる 河川水の曝露モニタリングに関する基礎的研究	41
・日本の16都道府県108河川水の GCMS一斉分析データベースを用いた測定	43
・国内11地点における大気粉じん及びガス状成分の遺伝毒性	45
・絶滅危惧種「ガシヤモク」の生育池調査	47
・光化学オキシダント生成に寄与する 非メタン炭化水素調査～朝昼比較(平成21年春季)～	49
・北九州市における海塩粒子影響調査	51
・光化学オキシダント生成に寄与する非メタン炭化水素調査	56
・国内の大気粉じんのアリルヒドロカーボン受容体 (AhR)結合活性について	62
・平成21年度化学物質分析法開発調査報告書(トリエチルアミン)	63
・北九州市における光化学オキシダント及び浮遊粒子状物質濃度	63

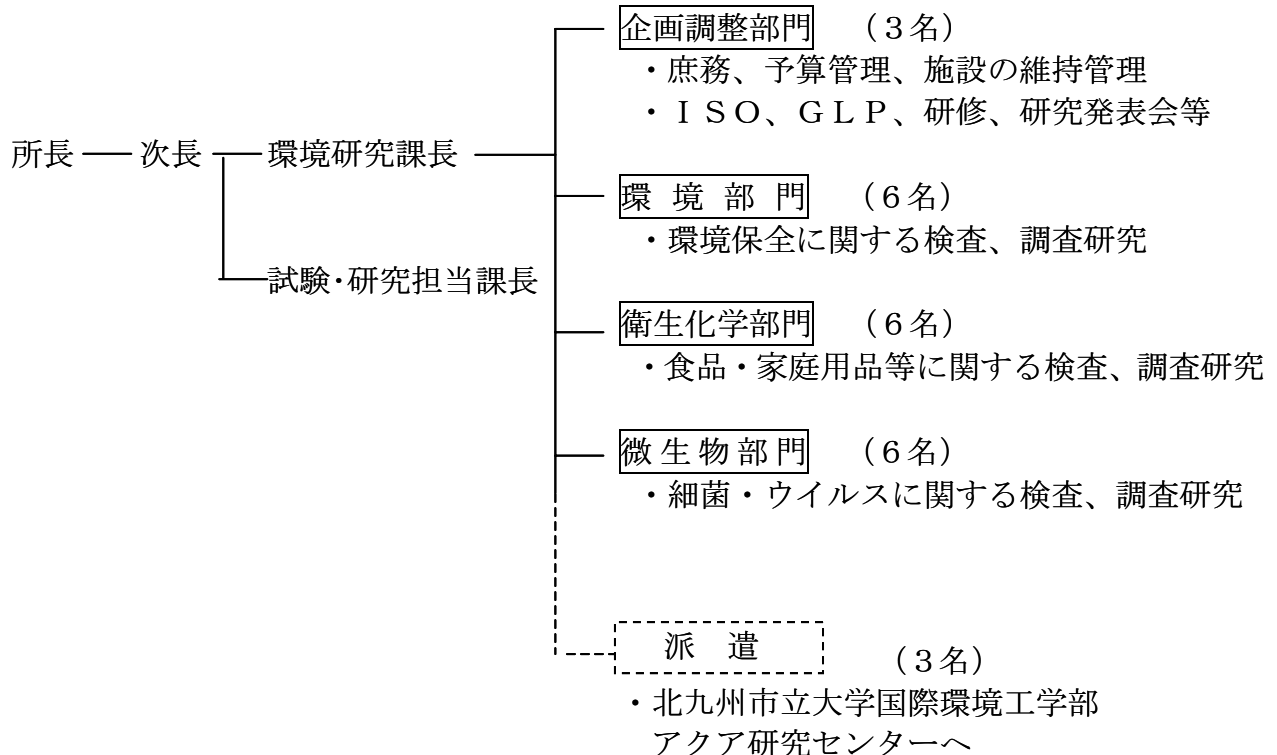
・食品中に含まれる微量農薬の分析法と精度管理体制の構築に関する研究	64
・LC/MS を用いた食品中残留農薬等測定における基礎的研究	65
・残留農薬に関するポジティブリスト制度導入に係る新規分析法開発・検証	67
・食品中残留農薬に関する一日摂取量実態調査	68
・健康危機管理最前線（その2）ヒスタミン中毒発生！スピード検出を実現	70
・中国産赤貝から検出された麻痺性貝毒検出事例（第一報）	72
・食品由来感染症調査における分子疫学手法に関する研究	74
・平成 21 年 5 月に発生した腸管出血性大腸菌感染 O157:H7 (VTI&陽性) を 原因とする食中毒事件について	85

第 1 沿革・組織及び概要

1 沿革

昭和40年6月	小倉北区井堀二丁目7番1号の市立朝日が丘病院内に衛生研究所設置
昭和49年2月	北九州市環境衛生研究所に名称変更
昭和49年3月	戸畑区新池一丁目2番1号に新築移転
平成5年4月	保健局から環境局へ所管が変更
平成6年4月	北九州市環境科学研究所に名称変更
〃	各研究部門を課制とし、総務課に環境学習情報係を創設
〃	アクア研究センターを研究所内に創設
平成13年4月	九州工業大学大学院生命体工学研究科との連携開始 （「環境精密計測講座」担当、～平成18年）
平成14年4月	総務課環境学習情報係を環境局計画課へ移管 （後に環境ミュージアムを含む環境学習課として独立）
〃	総務課庶務係を大気環境課に併合
平成15年7月	ISO14001 認証取得
平成17年4月	大気環境課、保健環境課及びアクア研究センターの一部を統合し環境研究課を設置
平成18年4月	アクア研究センターを北九州市立大学国際環境工学部に移管

2 組織



（平成22年5月1日現在）

3 職員配置表

			事務	化学	薬学	生物	獣医	農芸化学	水産	計
所長			1							1
次長						1				1
環境研究課長								1 (1)		1 (1)
試験・研究担当課長				1						1
企画調整	庶務	庶務担当係長	1							1
		主任	1 (1)							1 (1)
	企画	試験・研究担当係長				1 (1)				1 (1)
環境	試験・研究担当係長			2 (1)						2 (1)
	主任			2				1 (1)		3 (1)
	職員			1 (1)						1 (1)
衛生化学	試験・研究担当係長			1 (1)		1				2 (1)
	主任			2		1				3
	職員			1 (1)						1 (1)
微生物	試験・研究担当係長						1			1
	主任					1	1			2
	職員				2 (1)		1			3 (1)
派遣※	主任								1	1
	職員			2 (1)						2 (1)
計			3 (1)	1 2 (5)	2 (1)	5 (1)	3	2 (2)	1	2 8 (10)

() : 女性数

※ : 北九州市立大学国際環境工学部アクア研究センターへの派遣

4 検査件数

年度	区分	件数	環境部門			衛生化学 部門	微生物 部門
			大気	水質	計		
平成 17 年度	総数	11,596	1,076	5,267	6,343	1,197	4,056
	行政依頼	8,009	772	2,632	3,404	667	3,938
	調査研究	3,587	304	2,635	2,939	530	118
平成 18 年度	総数	9,701	879	3,038	3,917	1,041	4,743
	行政依頼	8,553	829	2,490	3,319	679	4,555
	調査研究	1,148	50	548	598	362	188
平成 19 年度	総数	7,280	888	1,037	1,925	1,134	4,221
	行政依頼	5,757	578	432	1,010	704	4,043
	調査研究	1,523	310	605	915	430	178
平成 20 年度	総数	5,393	1,059	224	1,283	771	3,339
	行政依頼	4,243	508	87	595	430	3,218
	調査研究	1,150	551	137	688	341	121
平成 21 年度	総数	5,597	1,063	212	1,275	722	3,600
	行政依頼	4,374	448	180	628	331	3,415
	調査研究	1,223	615	32	647	391	185

5 予算概要

(千円)

項目	平成 20 年度 決算	平成 21 年度 決算	平成 22 年度 予算
理化学機器リース事業	23,744	23,744	22,063
理化学機器整備事業	1,776	2,519	2,415
建物補修工事	0	85	0
ISO14001 運用事業	367	684	749
所の維持管理費	1,804	1,647	2,260
庁舎の維持補修費、機器保守	54,205	52,365	56,968
調査研究事業	3,132	5,082	6,448
GLP 対応事業	2,106	1,896	2,219
受託事業	9,431	12,239	16,672
光化学スモッグ原因調査	3,272	3,038	2,000
キュービクル更新工事 (高圧受変電設備)	34,450	0	0
計	134,287	103,299	111,794

6 分析機器整備状況

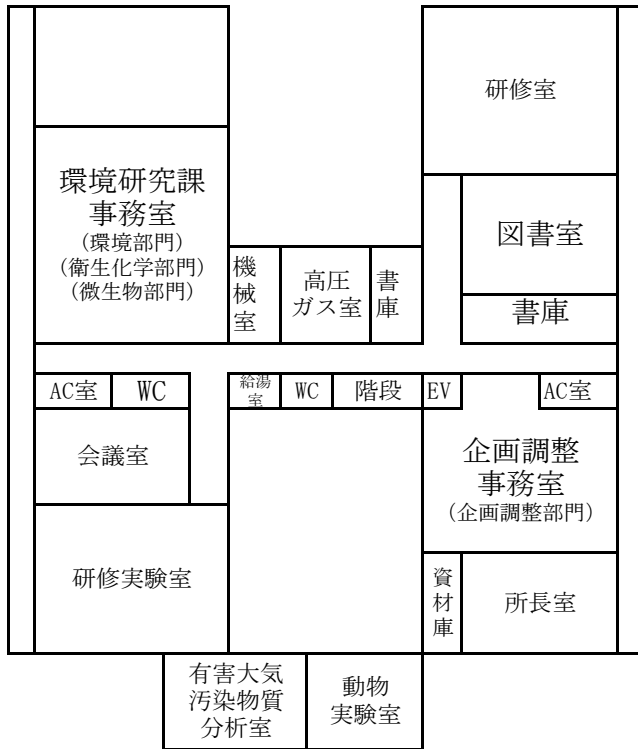
(平成 22 年 5 月現在)

	機器等の種類		品名/ 型式等
環境部門	GC	FID	Agilent 6890
		FPD	HP5890
	GC/MS		Agilent 6890/5973 (2台)
			Agilent 6890N/5973
			JEOL Automass
			Shimadzu GC-2010 加熱脱着導入装置付
	GC/MSD-キャニスター 試料大気濃縮導入装置		Entech7100A-Agilent6890N/5975
	ページ&トラップ-GC/MS		Tekmar 4000J-JEOL Automass Sun
	二重収束型GC/MS		JEOL JMS-SX102B
	HPLC/MS		Waters Alliance 2690
	LC/ICP/MS		Agilent 7500ce
	原子吸光分析装置		Varian SpectraAA 220
	水銀測定装置		Jarrell-Ash AMD-F2
	イオンクロマトグラフ		DIONEX ICS-1000
	有機体炭素測定装置		Shimadzu TOC-V CSH
	全窒素測定装置		TCI NOX1000
マイクロ波式反応加速システム		CEM MDS2000	
分析走査型 電子顕微鏡システム		JMS-6390LA	
生物顕微鏡		ニコン ECLIPSE 80i	
衛生化学部門	GC	FID	HITACHI 663-30
		ECD・NPD	Agilent 6890N
	GC/MS		Agilent 6890N 5973MSD
			日本電子 Automass II
			日本電子 Automass Sun
	LC/MS/MS		Waters ACQUITY™ /Quattro Premier XE
HPLC	UV	Agilent 1100series (2台)	
	DAD (PDA)	Agilent 1100series	
GPC クリーンアップ装置		G-PREP GPC8,100 Single システム	
微生物部門	透過型電子顕微鏡		日本電子 JEM1200EX
	超遠心分離機		日立 CP70G
	リアルタイムPCR		HT 7500FAST
			HT 7900FAST
	シーケンサー		ABI 3130XL
	パルスフィールド 電気泳動装置		BIO RAD CHEF-DRIII
	落射蛍光微分干渉顕微鏡		ニコン ECLIPSE TE300
	プレートソーダー		TECAN 社 SPECTRA
	サーマルサイクラー		ASTECC PC816
		ABI Veriti 100	
自動細菌同定検査装置		SYSMEX VITEX2 Compact	

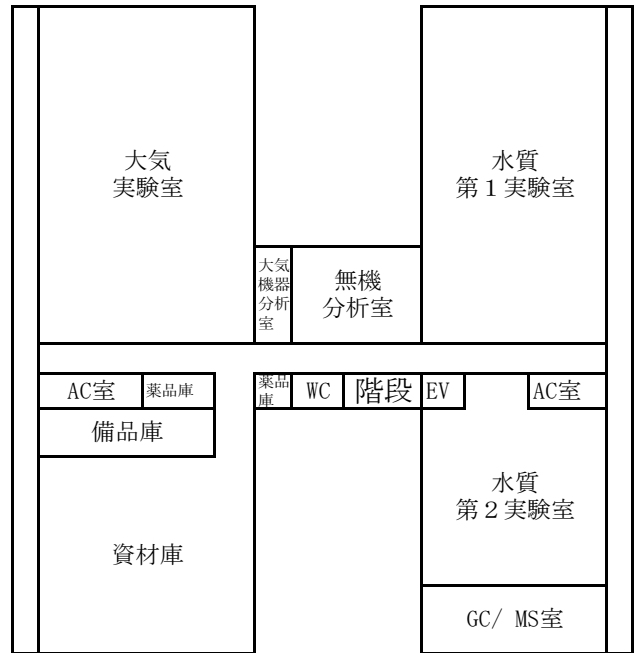
※ 100万円以上の機器を掲載

7 庁舎配置図

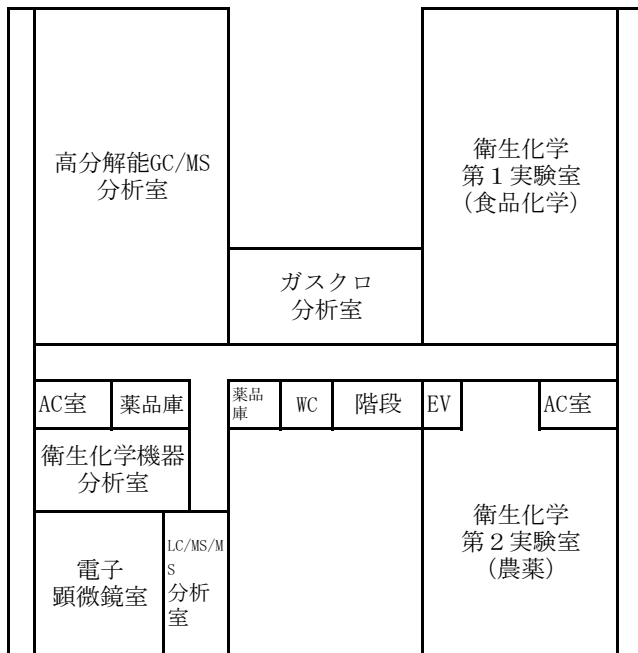
2階



3階



4階



5階

